

2020 (令和 2) 年度 薬学部卒業研究論文 著者と研究テーマ

卒業研究の目的と概要

薬学の知識を総合的に理解し、医療社会に貢献するために、研究テーマを通して、新しいことを発見し、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を習得し、それを生涯にわたって高め続ける態度を養う。

学部の講座並びにセンター組織に属する各研究室において指導教員の下に個々に研究テーマを定め、実験を通して得られた結果や調査を通して収集した情報について、教員とのディスカッションを踏まえ考察する。考察を基に問題解決策や将来に向けての展望など、卒業研究に対して自身で総括を行う。

秋山 真里奈	ヒト大腸がん細胞株 SW480 における低線量放射線照射が抗がん剤 (5-fluorouracil) の作用に及ぼす影響
石原 万椰	非小細胞肺癌患者における抗 PD-L1 抗体薬の効果に関わる予測因子の後方視的探索
市橋 侑希子	カワラケツメイ <i>Chamaecrista nomame</i> 根の成分に関する研究
伊藤 華子	抗菌ペプチド myticalin A6 (3-23)-OH のアミノ酸置換誘導体の合成
今村 咲耶	インドメタシンは PGE ₂ 産生低下を介してトリプトファン代謝酵素 IDO の発現を抑制する
伊禮 和矢	医療保険に関する調査研究～外国人労働者の医療保険について～
岩木 浩平	パーキンソン病の薬物治療に新規治療薬はどこまで貢献できるか?
上田 彩楓	フラバノンのリン酸誘導体の合成
上野 侑那	培養液中における Butin 及び、Butein の分光学的特性の研究
内田 朱音	PyII 試薬を質量プローブとして組み込んだ新規 Edman 分解試薬の合成研究 I (5) ～ α -アミノ酸と新規 Edman 分解試薬との反応～
水野 明	エステル類とスルホン酸のエステル交換反応機構
大島 明日香	ジケトピペラジンを分割剤とする芳香族アミンのジアステレオマー塩法による光学分割
大橋 彩乃	高齢糖尿病患者に対するデュラグルチドの有効性と QOL の検討
岡本 優希	Butin による骨髄間質細胞から骨芽細胞への分化促進作用とその機序の解明
荻沢 翔	関節リウマチ・変形性関節症・糖尿病・動脈硬化に対する温泉療法の治療効果に関する調査研究
落合 瞭	ヒト膵臓がん細胞 PANC-1 細胞に対するヒキオコシ <i>Isodon japonicus</i> 酢酸エチル可溶部成分の抗腫瘍活性研究
小野 静羽	カルコンリン酸誘導体の合成
重茂 優太	新規フラバノン誘導体の合成と抗インフルエンザウイルス作用に対する構造活性相関
勝田 未歩乃	ICR マウスの情動行動に及ぼす精油の効果に関する行動薬理学的研究
嘉藤 明徳	ビタミン C 配合美容液の保湿および美白効果の評価とビタミン C 含有アイク्रीムの開発
角野 舜一	石川県能登地区における地下水を中心とした水質調査に関する研究
門脇 一意	関節リウマチにおける生物学的製剤に関する調査研究
金田 澤奈	糖尿病における SGLT2 阻害薬の有効性に関する研究
川合 由佳	褐色脂肪様白色脂肪細胞分化能に作用する生薬・天然化合物の調査研究
河上 祐也	キサントランガムゲルビーズの調製と薬物放出制御の可能性

川端 悠太	急性拘束ストレスモデルと社会挫折性ストレスモデルにおける PGE ₂ 合成酵素の誘導と役割に関する研究
北村 嘉偉	水溶性、塩基性アミノ酸残基置換 polymyxin B 誘導体における緑膿菌 LPS 結合活性に関する研究
北村 菜絵	口腔内適用フィルム製剤の開発とその特性
金城 晶	各種学校で行われる「がん教育」と薬剤師の関わりについて
工藤 千寛	ハトムギの皮膚機能改善効果に関する調査研究
児玉 徹	Heck aza-Michael 連続反応を利用した thienylpiperidine 骨格の合成
小森 弘之	カラケツメイ由来フラボノイドは NF- κ B 阻害により破骨細胞への分化を抑制する
後藤 菜々美	てんかんに関する調査研究 ～てんかんの確定診断と誤診について～
齊藤 優希	サルコペニアに有効な生薬・天然化合物に関する調査研究
酒井 美咲	皮膚を模倣した光学ファントムの開発並びに光学ファントム中での 7-デヒドロコレステロールの光化学反応に関する研究
佐藤 大介	硫酸ナトリウムと硫酸マグネシウムを用いた漢方処方と比較
佐藤 結希	歯周病治療を目的としたフィルム製剤の開発
柴田 さくら	一般用医薬品の貼付剤の粘着性に関する比較検討
島 麻美子	野々市市内にある介護施設における多剤服用状況の把握、及び認知症患者における周辺症状の評価
坂倉 柚香	水溶性、塩基性アミノ酸残基置換 polymyxin B 誘導体における大腸菌 LPS 結合活性に関する研究
新谷 有紀	6-フルオロ-3-ヒドロキシ-2-ピラジンカルボキサミドの合成法に関する調査研究
菅沼 彩奈	延命草成分の栄養餓餓状態のヒト膵臓がん細胞株 PANC-1 細胞に対する活性について
鈴木 梨恵	抗菌ペプチド myticalin A6 の X-Pro-Arg 繰り返し配列を含む誘導体の合成および構造活性相関の検討
高木 千晶	酸化ストレスを介した脂溶性ピロリジンジチオカルバメート金属錯体の細胞傷害作用
高月 眞紀子	β -Amyloid Protein によって誘発される酸化ストレス障害に対する遠志の防御効果
高鳥 蓮也	インフルエンザウイルス増殖に対する感染前のトリシン処理効果について
高橋 君佳	骨格筋への作用によりインスリン抵抗性を改善する生薬の調査研究
高畠 舞	天然多糖類により調製したレバミビド含有フィルム製剤の特性
竹澤 秀男	悪性グリオーマ ”万能” 治療薬の探索
田邊 胡桃	MPTP 処置マウスにおける 2-deoxy-d-glucose のドパミン神経に及ぼす影響に関する研究
谷口 志穂里	Neuro 2A 細胞におけるコルチコステロン誘発細胞傷害に対する Butein の保護機構の探索
谷口 禎啓	偏頭痛における 5-Hydroxytryptophan (5-HTP) の有効性に関する調査研究
辻 初花	PyII 試薬とアミン類との反応 3
辻 勝大	冷凍ポテトフライを用いた油脂の劣化及び生成アクリルアミドの定量における基礎的研究
當銘 芽生	キサンタンガムゲルビーズの調製と薬物放出挙動
戸部 純菜	酸化マグネシウム錠の無包装状態及び一方化状態における安定性の比較検討
中澤 壮佑	小児経口投与のためのフィルム製剤
中出 智基	Neuro 2A 神経細胞におけるコルチコステロン誘発神経毒性に及ぼすプテインの影響に関する研究
長岡 美里	インターフェロン- α によるヒトサイトメガロウイルス増殖抑制における Mx α と PLSCR1 の関係
西野 美空	iPS 由来ヒト網膜色素上皮における NGC の発現動態

橋本 陵治	漢方方剤の芒硝添加時期による違いについての研究
浜野 夢羽果	がん性皮膚潰瘍に対する製剤開発ーアルギン酸ナトリウムを基剤とするフィルム製剤の開発ー
林 和生	N 末端コンホメーションが制限された六員環構造を有するカルノシン類似体の合成
林 夏輝	固相抽出法による <i>o</i> -フェニルフェノール (OPP) の回収率及び各誘導体化試薬による定量限界の改善に関する検討
樋口 稚菜	ピロリジンジチオカルバメートの細胞傷害作用に及ぼす塩化コバルトの阻害効果
藤田 紫音	HPLC による Amantadine 及びその構造類似体の同時定量法の開発
前田 美紗稀	深層学習を用いた皮膚感作性予測モデルの検討
真舘 育子	ヒトコロナウイルスに対する抗ウイルス効果を持つフラボノイドの探索
町田 明日加	ヒト網膜ミュラー細胞株における水痘帯状疱疹ウイルスの感染と増殖
松谷 崇正	ジスルフィド類のドミノ型光ラジカル環化反応に関する研究
宮城 志織	ヒト網膜色素上皮を構成する iPS 分化細胞、初代細胞、および株化細胞の相似と相違
宮崎 伸輔	HPLC による (<i>R/S</i>)-Baclofen の光学分割
村山 綾那	ヒト乳がん細胞株 MCF-7 における低線量放射線照射が抗がん剤(Paclitaxel)の作用に及ぼす影響
村山 広貴	石川県における微小粒子状物質量の測定と季節的变化
望月 彩純	抗アレルギー作用を有する加賀野菜の探索
森田 優隆	レーザー刺激で発現誘導される iPS 由来ヒト網膜色素上皮の HSP family
山田 優美香	分子軌道法計算による 5-ベンジル-2-チオヒダントインの安定構造の解析
山本 美夢	マウス軟骨前駆細胞 ATDC5 培養系における Liquiritigenin の軟骨基質産生促進効果
横川 聖	関節リウマチに対する漢方治療及び慢性疼痛に対する薏苡仁湯の有効性に関する研究
横田 悠哉	高速液体クロマトグラフィーによる Paroxetine、Fluvoxamine、Fluoxetine、Sertraline 及び Memantine の定量法の開発
吉村 翼	成人型アトピー性皮膚炎における精神的ストレスに対する漢方薬のアプローチ
田中 秀樹	ヒト三次元培養表皮モデルに及ぼすアスコルビン酸の影響に関する研究
荒木 秀太	ウイルス性脳炎における PGE ₂ 合成酵素の発現に関する研究
有村 悟史	Pripyropene A に関する調査研究
池尾 英理奈	ヒトコロナウイルスに対するファビピラビル誘導体 (Cl, Br 体) 及び既存薬の有効性
池田 真菜	ヒト肺腺癌 PC-14 細胞における粉防已成分 Tetrandrine と Gefitinib のオートファジー関連タンパク質 LC3 および p62 の増加作用について
上原 正護	生死の天秤シグナル制御によるがん細胞の運命制御
大岩 拓人	カルノシン誘導体及び構成アミノ酸の睡眠促進作用
大宮 陵平	フッ素を有する Flabanone 誘導体の合成および神経突起伸展作用の可能性について
金木 美静	人生の最終段階における医療の決定プロセスに関する研究
久世 彰	ヒト肺腺癌細胞における 7-Isopropoxy-Eupafolin の細胞増殖抑制における caspase 及び p53 の関与について
小林 史佳	新生児ヘルペス患者から分離された単純ヘルペスウイルス 2 型の遺伝子変異の解析
酒井 李菜	量子化学計算によるシアノ基を有する DPP-4 阻害薬の構造安定性に関する研究
坂倉 佑樹	水溶性、塩基性アミノ酸残基置換 polymyxin B 誘導体における細胞毒性に関する研究
阪本 頼紀	脂質異常症の予防および改善における n-3 系脂肪酸の役割について
佐々木 優	対面飼育ストレス負荷 MPTP 処置マウスにおけるフェルラ酸の効果に関する研究
佐飛 瑞紀	カルノシン及びホモカルノシンのアミノアルコール還元体への変換に関する研究

澁谷 侑季奈	コルチコステロンによる Neuro2A 細胞毒性に及ぼす Butein の保護メカニズムに関する研究
須藤 瞭太	ヒスタミン H ₃ および H ₄ 受容体リガンドの創製に関する調査研究
知花 朝成	ファビピラビルの構造を基にした抗ヒトコロナウイルス活性を有する化合物の探索
寺田 裕亮	ヒト肺胞基底上皮腺癌 A549 細胞の Topoisomerase II 活性における 7-Isopropoxy-Eupafolin 及び Novobiocin の関与について
中村 優斗	おくすり手帳に関する調査研究～おくすり手帳の今後について～
永栄 志帆	健康食品ヤマブシタケの認知機能改善に関する調査研究
長原 正人	雌雄大麻草タバコ喫煙中におけるカンナビノイド含有量に関する研究
名倉 希美	非弁膜症性心房細動患者における抗凝固薬のアドヒアランス調査
布井 祥映	フレイルの認知度向上と予防のための生活指導用パンフレットの作成
野田 明日香	ペルオキシナイトライトによる MC3T3-E1 細胞抽出タンパク質のトリプトファンニトロ化部位の同定
幡谷 義康	フラボノイド Butin によるミクログリアの遊走促進機序の解明
牧野 峻也	成熟期における雌雄大麻草タバコ喫煙中のカンナビノイド含有量に関する研究
松坂 侑美	二量化ポルフィリン類の DNA への結合と光切断活性に関する研究
松田 規佐	慢性腎臓病と続発性骨粗鬆症に関する調査研究
松原 真人	ペルオキシナイトライトによりニトロ化したピルビン酸キナーゼの活性低下
間瀬 亮介	日本酒及び麦酒中の糖質の定量
三崎 健太	化粧品成分の有害事象に関する情報抽出の検討
宮澤 晴志	ツニカマイシンによる小胞体ストレス傷害に対する IPRG025 の Neuro2a 細胞保護作用に関する研究
山口 佳祐	大麻種子を原料とする健康食品中のカンナビノイド含有量に関する研究
和田 肇紀	睡眠薬が認知機能に及ぼす影響に関する調査研究
安達 友美	カキノキ <i>Diospyros kaki</i> Thunb. の種子成分に関する研究
大友 麻衣	トポイソメラーゼ I 活性阻害作用を有するポルフィリン類の探索に関する研究
川合 仁	活性窒素種によるトリプタミンの修飾と HPLC による分離
藤島 克仁	カルベジロール錠の一包化および無包装状態での安定性の比較検討
嵯峨根 舞	5-Dehydroxyflavanone 誘導体の合成とラジカル消去活性に関する A 環水酸基の置換基効果
佐藤 貴美	2-Dehydroxychalcone 誘導体の合成と抗酸化作用について
竹内 史哉	免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象の発生機序とその対処法に関する調査研究
谷川 俊賢	保健機能食品の変遷及び現状についての課題と今後の展望
谷山 宗徳	ヒトサイトメガロウイルスによる大腸がん細胞株におけるケモカインの発現誘導
西出 侑里	放射線に対する意識調査と薬剤師のかかわり
野村 菜月	緩衝溶液の違いによるメラニン溶解能の検討と赤色～近赤外光照射によるメラニンの光化学反応に関する研究
松林 大策	Neuro2a 細胞における IPRG025 の神経突起伸展メカニズム
水林 佳輝	ジカウイルスと新生児 Fc 受容体との相互作用の解析
嶺井 華	ヒト網膜由来細胞株における抗ヘルペスウイルス薬の効果比較
鈴木 沙妃	光照射下ジアリールジスルフィド類の励起を利用するアリール位の酸素酸化反応に関する研究
森 皓之朗	マウス筋芽細胞 C2C12 培養系の筋管形成に及ぼすフラバノン誘導体の作用
西野 早紀	大麻草の雄株と雌株中の年度別カンナビノイド含有量に関する研究